

(参考)

### 1 経緯等

(1) ユネスコの世界遺産一覧表記載に向けては、世界遺産暫定一覧表に記載されたものの中から、各締約国が記載推薦を行い、文化遺産については国際記念物遺跡会議（ICOMOS：イコモス）による審査を経て、世界遺産委員会において記載の可否が決定される。

(2) 「石見銀山遺跡とその文化的景観」（所在地：島根県）の記載推薦に係るこれまでの経緯：

平成13年4月6日	我が国の世界遺産暫定一覧表に記載
平成18年1月4日	ユネスコに世界遺産一覧表への記載推薦書を提出
平成18年10月17～21日	イコモスから派遣された専門家による現地調査

### 2 イコモス（ICOMOS：International Council on Monument and Site 国際記念物遺跡会議）

イコモスは、本部をフランス、パリにおく非政府機関。1965年に設立され、建築遺産及び考古学的遺産の保全のための理論、方法論、科学技術の応用を推進することを目的とする。世界遺産委員会の諮問機関としての役割も担っており、締約国により記載推薦された文化遺産が世界遺産としてふさわしい顕著な普遍的価値を持つか等の評価を行い、世界遺産委員会に勧告を提出する。

### 3 今後の予定

(1) 第31回世界遺産委員会（平成19年6月23日～7月2日、於：ニュージーランド）

第31回世界遺産委員会において、イコモスの勧告を踏まえ、「石見銀山遺跡とその文化的景観」を含む各締約国からの推薦物件の記載の可否が決定される。

世界遺産委員会の決議は、次の4区分で示される。

記載（*Inscription*）：世界遺産一覧表に記載するもの。

情報照会（*Referral*）：追加情報の提出を求めた上で次回以降の審議に回すもの。翌年の審議を受けるためには、翌年の2月1日までに追加情報の提出が必要。

記載延期（*Deferral*）：より綿密な調査や推薦書の本質的な改定が必要なもの。推薦書を再提出した後、約1年半をかけて再度イコモスの審査を受ける必要があり、改めて世界遺産委員会での審議を受けるには最低2年の期間を要する。

不記載決議（*Decision not to inscribe*）：記載にふさわしくないもの。例外的な場合を除き再推薦は不可。

### 4 世界遺産委員国（21カ国）一覧（任期は4年又は6年）

2007年に任期終了	2009年に任期終了
インド	米国
NZ	カナダ
ノルウェー	韓国
オランダ	スペイン
日本	マダガスカル
リトアニア	モロッコ
チリ	チュニジア
ベナン	ケニア
クウェート	モーリシャス
	ペルー
	キューバ
	イスラエル

：議長国、：副議長国、：ラポラトゥール国